

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、熊本大学教育学部附属小学校・中学校では、人体に影響の小さい紫外線を照射してウイルスを抑制する UVee（ユービー）を導入。感染リスクを抑える教育環境を創り出し、児童・生徒はもちろん、父兄、教職員、来校者に安心と信頼を提供しています。

熊本城から北に連なる京町台地の上に建つ熊本大学教育学部附属小学校・中学校は、その前身も含めて約 150 年の歴史を持つ伝統校。国立大附属学校として先導的な取り組みを行うとともに、地域に開かれた学校の実現に努められています。2016 年の熊本地震の際には多数の被災者を体育館に受け入れ支援。地域とともにあり続ける姿勢が、学校に対する信頼を築き上げています。



【物件概要】

所在地：熊本県熊本市中央区京町本丁5番12号
 熊本大学京町団地構内
 工事建物：附属小学校校舎A・B棟、附属中学校西校舎
 規模・構造：附属小学校校舎A・B棟／鉄骨造3階建、
 附属中学校西校舎／鉄筋コンクリート造3階建
 敷地面積：51,547㎡
 改修面積：附属小学校校舎A・B棟／282㎡、
 附属中学校西校舎／23㎡
 施主：国立大学法人熊本大学
 施工：聖輝電設㈱
 導入：2021年3月

トイレ改修工事を機に UVee（ユービー）を小中学校で 9 台導入し、接触感染リスクを低減。

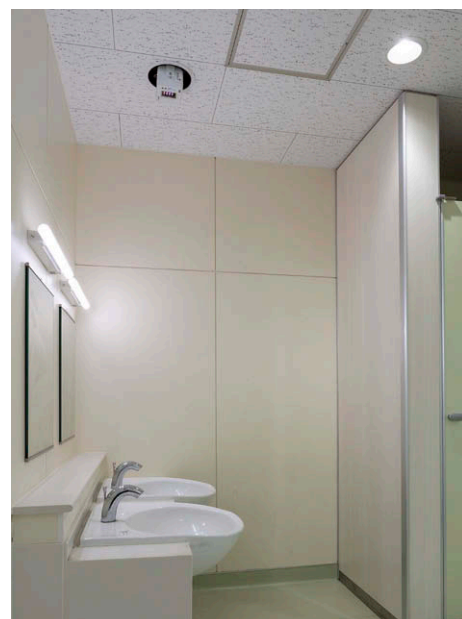
熊本大学教育学部附属小学校・中学校では、小中学校あわせて 1,000 名を超える児童・生徒（小学校 630 名、中学校 480 名定員）が、日々活気あふれる学校生活を送っています。2020 年に新型コロナウイルス感染症が広がって以来、学校では感染拡大防止策を迅速に導入し、マスク着用や手指消毒、換気、3 密回避など衛生面での各種行動を励行することはもちろん、タブレットを使用したリモート授業体制の構築などにもいち早く取り組みました。

として検討。小学校では 1 階多目的トイレおよび各階男女トイレに、中学校では 1 階男女トイレに、UVee が導入されました。設置にあたっては天井高さ 2.6m、洗面台まで 1.75m の条件で UV 放射照度測定を実施し、実際の環境においても UV 照射量が確保できていることを確認。採用器具はユニバーサルダウンライトタイプで、手洗い時の接触による感染拡大の防止を目的に洗面台まわりを狙って UV 照射。児童・生徒が利用していない時に照射する人感センサー運転で運用されています。

UVee の導入は、2020 年下半年に行われたトイレ改修工事を好機



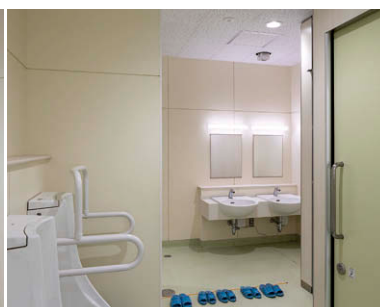
小学校多目的トイレ UVee ユニバーサルダウンライトタイプ①が洗面台を狙って UV 照射。



小学校3階男子トイレ 無人状態でUV照射。



小学校2階女子トイレ洗面コーナー



小学校2階男子トイレ洗面コーナー



中学校1階女子トイレ洗面コーナー



UV照射時のUVee①

主な掲載器具一覧

設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考
屋内	① ウイルス抑制・除菌用 UV 照射器 UVee ユニバーサルダウンライトタイプ	UV-CU01007K-LS9	9	消費電力：19.3W (100V)